

秋の全国交通安全運動

新潟県実施要綱



1 実施期間

- 運動期間 9月21日（土）～ 9月30日（月）
- 交通事故死ゼロを目指す日 9月30日（月）

2 目的

この運動は、夕暮れの早まりと秋の行楽期が重なる時期に交通事故が多発することから、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施します。

3 スローガン

『 夕暮れは ライト早めで 防ぐ事故 』

4 運動の重点

- ① 子供と高齢者の安全な通行の確保
～横断歩道での歩行者優先（新潟県重点）～
- ② 高齢運転者の交通事故防止
- ③ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ④ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑤ 飲酒運転の根絶

5 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定して、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、実効的な運動を展開しましょう。

新潟県交通安全対策連絡協議会

<官公庁>

- ・新潟県
- ・新潟県警察本部
- ・新潟県教育委員会
- ・国土交通省北陸地方整備局
- ・国土交通省北陸信越運輸局
- ・国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局
- ・厚生労働省新潟労働局
- ・新潟市
- ・新潟県市長会
- ・新潟県町村会
- ・新潟県市町村総合事務組合

<教育関係団体>

- ・新潟県小学校長会
- ・新潟県中学校長会
- ・新潟県高等学校長協会
- ・新潟県小中学校PTA連合会
- ・新潟県高等学校PTA連合会
- ・新潟県専修学校各種学校協会
- ・新潟県私立中学高等学校協会
- ・新潟県幼稚園・こども園連盟
- ・新潟県私立幼稚園・認定こども園協会
- ・新潟県保育連盟

<交通・運輸関係団体>

- ・東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
- ・東日本高速道路株式会社新潟支社
- ・公益財団法人新潟県交通安全協会
- ・一般社団法人新潟県安全運転管理者協会
- ・公益社団法人新潟県トラック協会
- ・一般社団法人新潟県ダンプ協会
- ・公益社団法人新潟県バス協会
- ・一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会
- ・一般社団法人新潟県自動車整備振興会
- ・新潟県自動車販売店協会
- ・一般財団法人新潟県自動車標板協会
- ・一般社団法人新潟県指定自動車教習所協会
- ・一般財団法人新潟県自動車練習所
- ・軽自動車検査協会新潟主管事務所
- ・陸上貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部
- ・独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所
- ・新潟県二輪車普及安全協会
- ・自動車安全運転センター新潟県事務所
- ・一般社団法人新潟県交通安全施設協会
- ・新潟県高速道路交通安全協議会
- ・新潟市個人タクシー事業協同組合
- ・一般社団法人日本自動車連盟新潟支部
- ・新潟県自転車・軽自動車協同組合
- ・新潟県レンタカー協会
- ・新潟県ハイヤー交通共済協同組合
- ・新潟県自動車車体整備協同組合
- ・赤帽新潟県軽自動車運送協同組合
- ・新潟県オートバイ事業協同組合
- ・新潟県軽自動車協会
- ・日本通運株式会社新潟支店

・新潟県中古自動車販売協会

<報道関係>

- ・株式会社新潟日報社
- ・朝日新聞社新潟総局
- ・毎日新聞社新潟支局
- ・読売新聞社新潟支局
- ・産経新聞社新潟支局
- ・共同通信社新潟支局
- ・時事通信社新潟支局
- ・日本経済新聞社新潟支局
- ・NHK新潟放送局
- ・株式会社新潟放送
- ・株式会社新潟総合テレビ
- ・株式会社テレビ新潟放送網
- ・株式会社新潟テレビ21
- ・株式会社柏崎コミュニティ放送
- ・長岡移動電話システム株式会社
- ・株式会社エフエムラジオ新潟
- ・燕三条エフエム放送株式会社
- ・株式会社けんと放送
- ・株式会社エフエム新津
- ・エフエム角田山コミュニティ放送株式会社
- ・株式会社エフエム雪国
- ・新潟県民エフエム放送株式会社
- ・エフエム上越株式会社
- ・株式会社エフエムしばた
- ・株式会社エフエムとおかまち
- ・エフエム魚沼株式会社

<青少年・福祉関係団体>

- ・社会福祉法人新潟県社会福祉協議会
- ・日本ボーイスカウト新潟連盟
- ・新潟県青少年健全育成県民会議
- ・一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会

<その他関係団体>

- ・新潟県石油業協同組合
- ・日本郵便株式会社信越支社
- ・一般社団法人新潟県商工会議所連合会
- ・新潟県商工会連合会
- ・新潟県中小企業団体中央会
- ・一般社団法人新潟県銀行協会
- ・全国交通運輸労働組合連合会新潟県支部
- ・一般社団法人新潟県農業会議
- ・新潟県農業機械商業協同組合
- ・新潟県農業共済組合連合会
- ・新潟県農業協同組合中央会
- ・全国共済農業協同組合連合会新潟県本部
- ・全国農業協同組合連合会新潟県本部
- ・新潟県信用農業協同組合連合会
- ・新潟県厚生農業協同組合連合会
- ・新潟県酪農業協同組合連合会
- ・東北電力株式会社新潟支店
- ・新潟県酒造組合

「ハンドルキーパー運動」

「ハンドルキーパー運動」とは、自動車で仲間と飲食店などへ行く場合、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。



新潟県交通安全マスコット
ルルちゃん



ハンドル
キーパー

9月30日（月）は「交通事故死ゼロを目指す日」です

全国では記録の残る昭和43年以降、毎日、交通死亡事故が発生している状況です。このような中、平成20年1月に、交通安全に対する国民の意識を高めるため、新たな国民運動として、「交通事故死ゼロを目指す日」を設けることとされました。

① 子供と高齢者の安全な通行の確保 ～ 横断歩道での歩行者優先（新潟県重点）～

- ◎ 全国では通学中の児童が死傷する交通事故が発生しています。幼稚園や保育園、学校などの周辺では、十分に速度を落とすとして安全運転を心掛けましょう。
- ◎ 平成30年中、県内では44人の歩行者が交通事故で亡くなり、そのうち26人は道路横断中でした。本年は、6月末時点で歩行中の事故による死者は16人と、昨年より3人減少していますが、負傷者は281人で、昨年より16人増加しています。
- ◎ 歩行者が横断しようとしている「信号機のない横断歩道」において新潟県では8割以上の車が止まらないという結果が出ています。（平成30年 一般社団法人日本自動車連盟調査）
- ◎ 横断歩道は歩行者が最優先です。ドライバーは、横断歩道の手前では減速するなど、横断しようとしている歩行者に備え、横断者がいる時は必ず一時停止しましょう。



●歩行者の交通事故死傷者数（平成30年中）

単位：人（ ）内は割合

区分	総数	子ども	高校生	高齢者	その他
死者数	44	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (86.4%)	6 (13.6%)
負傷者数	529	66 (12.5%)	16 (3.0%)	207 (39.1%)	240 (45.4%)

② 高齢運転者の交通事故防止

- ◎ 県内の高齢者の交通事故死者数は、15年連続で全交通事故死者数の半数を超えています。また、昨年の高齢運転者による交通事故死者数も、全死者数の23.5%を占めており、全事故に占める割合は依然として高い状態です。



歳を重ねるにつれ身体能力は低下していきます。高齢運転者は、特にゆとりを持った運転を心掛けましょう。

- ◎ 高齢運転者は、補償運転※1に努めましょう。

※1 補償運転とは、加齢に伴う運転技能の低下などによって生じる危険を避けるため、より安全性の高い方法（「夜間や雨の日の運転を控える」「スピードを出さない」など）を選んで運転することです。

【サポカー／サポカーSを知っていますか？】

- サポカーとは、衝突被害軽減ブレーキ（自動ブレーキ）を搭載した自動車です。
- サポカーSとは、衝突被害軽減ブレーキに加え、ペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した、特に高齢者に推奨する自動車です。
- 衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置以外にも、運転者の安全運転を支援する様々な先進安全技術があります。

※2 サポカー／サポカーSに搭載されている先進技術は、交通事故の防止や被害の軽減に役立ちますが、条件によっては装置が作動しない場合もあります。装置の機能を過信せず、安全運転を心掛けることが大切です。

③ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

- ◎ 平成30年中、死者102人のうち夜間事故の死者は54人（52.9%）でしたが、このうち夜光反射材などを身につけていた方はほとんどいませんでした。秋は、交通量が増える夕暮れの時間帯に視認性が低下します。歩行者は白色など明るく目立つ色の服装を心掛けるとともに、夜光反射材などを活用しましょう。自転車に乗る際は、ライトを早めに点灯して、ドライバーに自らの存在を知らせましょう。
- ◎ ドライバーの皆さんは、早めにライトを点灯し、上向き・下向きをこまめに切り替え、歩行者等の早期発見に努めましょう。

夜光反射材は、光を反射して、あなたの存在をドライバーに教えてくれます。



*停止距離は、反応時間を0.75秒、摩擦係数を0.7で算出した場合

④ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ◎ シートベルト・チャイルドシートは「大切な命綱」です。車に乗ったら、「すぐベルト」を合い言葉に、全ての座席でシートベルトを着用する習慣をつけましょう。
- ◎ チャイルドシートの使用は運転者の義務です。シートベルト・チャイルドシートの大切さを大人が子供に伝えていきましょう。



⑤ 飲酒運転の根絶

- ◎ 平成30年中、県内では飲酒運転による交通事故が51件発生し、このうち4件が死亡事故でした。「飲酒運転は重大な犯罪である」ことを自覚し、飲酒運転の危険性・悪質性・責任の重大性を、地域・職場・家庭などで話し合い、「飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない」を合い言葉に飲酒運転を根絶しましょう。
- ◎ 二日酔いでも飲酒運転になります。アルコールは体内から簡単に抜けないことを認識し、翌日に車の運転が予定されている時には、深酒は控えましょう。
- ◎ 自転車であっても飲酒運転は違反です。自転車の飲酒運転は絶対にやめましょう。



こんなに厳しい！！飲酒運転の処罰

罰則 酒酔い運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金